

第63回土幌町文化祭 (11月2~3日)



11月2日から3日までの2日間、総合研修センターにて、土幌町文化祭が開かれ約580名が来場し、芸術に触れました。例年、芸術発表会や茶席などの催しも行っていますが、新型コロナの影響で中止とし、展示のみの開催となりました。ふれあいホールには絵画、書道、写真、陶芸や石工などの町民の力作1056作品が展示され、来場者は家族や友人の作品を見つけては指を指したり、感想を話したりしながら、芸術の秋を楽しんでいました。

消防団協力事業所に表示証を交付

～平田建設と北斗運輸～



11月4日、土幌消防団(大西米明団長)の活動に協力している平田建設(長谷川雅毅社長)と北斗運輸(藤澤隆夫社長)に消防団協力事業所表示証交付書を交付しました。2事業所は平成28年に消防団協力事業所として初めて認定され2年ごとに更新。3回目の交付となりました。土幌消防署で行われた交付式には、長谷川社長、藤澤社長、大西団長のほか、2事業所から消防団員として活動している職員各2名が出席。小林町長から長谷川社長と藤澤社長に交付書が手渡されました。大西団長は「訓練に積極的に参加し、いざという時の戦力になってもらいたい」と話していました。

職場体験学習

～中央中2年生～

11月5日、土幌町中央中学校2年生64名が22か所の事業所で、職場体験学習を行いました。中央中では生徒が働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験し、働く人々と接することを目的に、毎年実施しています。役場総務企画課には飯島伽蓮さんと後藤蔣務さんの2名が体験。午前中は公務員の仕事について説明を受けた後、町づくり懇談会のポスター配布、午後にはしたしみ図書館や消防署などで働いている同級生を取材して、町の公式フェイスブックに実際に投稿し、広報広聴担当の仕事を経験しました。



インタビューをする後藤さん(撮影 飯島さん)